

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月1日

事業所名 しあわせ駅 浦添

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2	1	スペースは十分である。	個々にしっかりとした療育や個別活動が行き届いていないように感じる部分もある。今後は、個別活動ができる個室を用意し、児童がより安全に活動できるよう配慮していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	5	3		全体を把握できるように利用人数に応じて職員数の配置を行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8			段差をなくす等安全に過ごせるよう工夫し、配慮している。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	2		ミーティングや隙間時間を利用して情報を共有している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1		定期的に評価を実施し、参考にしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3	1	ホームページにて公表している。	今後は、お便りでのお知らせや新しい職員に対して周知徹底していきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3			今後検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	3		コロナ禍の影響により、参加することは難しいが時間を確保できるように心掛けている。	オンラインセミナー等を利用し研修の機会の確保をしていきたい。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			子どもや保護者のニーズを大切にし、児発管を中心に作成している。全職員把握に努めている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		1	個々に合わせたアセスメントツールを使用している。	今後も見直しを図りより改善していくよう努めていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		職員全員の意見を取り入れていけるようミーティングをするなど工夫している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1		職員全員の意見を取り入れ、固定化しないよう工夫しながら活動プログラムの立案を行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2		それぞれ支援時間が異なる為、支援時間に応じた活動を設定し支援を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			個々に合わせた集団活動、個別活動を組み合わせ計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2		午前中の時間を活用して可能な限り確認して対応するよう心掛けている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4	1	退社時刻の都合上、その日に必ず打ち合わせを行うことは難しいが、送りノートを活用したり、翌日の朝礼等で情報共有を心掛けている。	情報共有、支援の振り返りの時間の確保については、今後より改善できるよう努めていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			日々の記録は必ず行っている。よりよい支援にしていけるような記録を意識しながら継続していきたい。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			定期的に行っている。職員全員での参加は難しいが、全職員で一貫した支援に取り組めるよう共有をしていくことを心掛けている。	
関係	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	1		ガイドラインを意識した取り組みを行うよう工夫している。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			児童の担当を決め、会議に参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8			送迎時にこまめに確認事項の情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	2		できる限り連携をとっている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1		担当者会議などで情報共有を行っている。	

	チェック項目	はい			どちらとも いえない			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ		
機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	1			必要であれば情報提供を行っている。		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	1		できる限り連携をとっている。	研修を受ける環境も整え、 今後、連携強化していきたい。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4		4		公園等野外活動でその場で知り合った児童たちと一緒に遊ぶ機会を設けるなど、積極的に野外活動を取り入れている。	コロナ禍の影響や児童館へ足を運ぶことがなく、交流する機会がなかった。 今後の成長過程の応じて取り入れていきたい。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4	3			現在、参加することができていないが 機会があれば参加していきたい。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1			送迎の際や電話、連絡ノート等を活用し子どもの様子等を伝えるようにしている。		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	3			現在、プログラムとしてペアレント・トレーニングを行うことはできていないが今後検討していきたい。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8				契約の際に、必ず書面・口頭での説明を行っている。		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8				相談があればその都度、助言を行っている。	専門家の意見も取り入れながら必要な助言ができるように勉強していきたい。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	3			現在、保護者会等を開催することはできていないが、 今後必要であれば検討していきたい。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8				状況を把握し、可能な限り適切な対応ができるように心掛けている。		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8				毎月、お便りを発行し情報を伝えている。		
	35	個人情報に十分注意している	8				個人情報が入力されたプリントを配布する際には、中身が見えないファイルや封筒を活用し、廃棄の際には必ずシュレッダーにかけている。保管書類は、窓から見えないようキャビネット内にて保管している。		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				手話を活用して意思疎通をおこなったり、連絡帳、ラインを用いて情報伝達を行っている。		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	2			公園へ出かけるなど、地域での活動は行っているが招待しての交流は行っていない。 今後地域の方との関わりが持てるような環境作りを検討していきたい。		
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1			マニュアルを作成し定期的に訓練も実施している。		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1			定期的に訓練を実施している。		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1			虐待防止資料等の読み合わせを定期的に行っている。		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1			現在、対象児童なし。 身体拘束を行なう際は他に代替案が本当はないのかを考え事前の説明、同意、計画に記載が必要なことを全職員、理解している。		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1			保護者の指示のもと対応を行っている。		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	2			都度、ヒヤリハット報告書を記入し、情報共有を行っている。	事例集は、現在作成中である。		